

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	救急初療室における敗血症診断			
② 実施予定期間	承認日～2019年3月31日			
③ 対象患者	当院救命救急センターを受診、あるいはセンターへ搬送され、感染症を疑われた患者さん。			
④ 対象期間	承認日～2019年3月31日			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院			
⑥ 対象診療科	救急科			
⑦ 研究責任者	氏名	山下 寿	所属	救急科
⑧ 使用する資料等	<p>診療情報より下記事項を調査します。</p> <p>年齢、性別、身長、体重、共存症、フレイル、既往歴、治療内容、受診日、入院から28日及び退院時の転帰</p> <p><臨床検査観察項目></p> <p>意識レベル、血圧、呼吸数、心拍数、体温、尿量、白血球数、PCO₂（二酸化炭素分圧）、lactate（乳酸）、感染部位、起炎菌、qSOFAスコア（quick Sequential Organ Failure Assessment score）、SIRSスコア（Systemic Inflammatory Response Syndrome score）、GCS（Glasgow Coma Scale）</p>			
⑨ 研究の概要	<p>本研究は、日本救急医学会主導の元、北海道大学病院が主体となっ て行われる多施設共同研究です。</p> <p>感染症が疑われる患者の初期診療において、1992年に敗血症は感 染に起因する全身性炎症反応症候群(SIRS)と定義され、今日まで使 用されています。しかし、敗血症診断における特異性の低さが問題 となり、2016年にSIRSを除外し、SOFAスコアを組み入れた新し い敗血症の定義および診断基準が提唱されました。本研究では、担 当医が感染症疑いと判断した患者さんに対し、感染症を疑った時点 での情報に基づくqSOFAスコアとSIRSスコアを比較し、敗血症初 期治療のより良い指標を検討し、明らかにします。</p>			
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017年7月11日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人 情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧でき ます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会、論文等で発表します			
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個			

	人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。個人情報責任者を設定し、連結可能匿名化を行うことなどにより、個人情報の保護を行っています。		
⑭ 知的財産権	日本救急医学会に属します		
⑮ 研究の資金源	特にありません		
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 救急科 山下 寿		
	電話	0942-35-3322	FAX 0942-34-3370